

# 令和五年度入学者選抜試験問題【一般】

## 〔国語総合〕

(試験時間：六十分)

### 《注意事項》

1. 試験監督者の指示があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 問題冊子及び解答用紙には、受験番号を記入する欄があります。それぞれに正しく記入してください。
3. 国語総合（一般）の問題は、全部で34問あります。
4. 解答は、問題番号ごとに解答用紙の各欄に、番号をひとつ記入してください。
5. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明及びページの落丁・乱丁、解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて試験監督者に知らせてください。
6. 試験終了後、全ての配布物を回収します。  
問題冊子は左側に、解答用紙は右側に置き、試験監督者の合図があるまで席を立たないでください。

受験番号	
------	--

第1問 次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。

現在のコロナのジョウキョウ<sup>a</sup>で不安の問題について考えるということは、「人類はどのように生きていったらいいのか？」というような大問題を考えるのと同じことです。

つまり、本書を通して人類の本当の問題について考えることになるでしょう。

長い人類の歴史を考えてみると——新型コロナウイルスの問題が起こるはるか以前——もともと人間が不安に苦しみ出したのは、共同体のホウカイ<sup>b</sup>が始まった時からでした。

人類の歴史を辿ると、共同体から機能集団の歴史になりました。機能集団の一例は、Aなどの組織です。一方、共同体というのはBなどです。

かつては共同体に属してさえいれば、「君は君だから生きている意味がある、価値がある」とされた。人間はそこにいること自体に意味が持てました。

ところが、機能集団というのは共同体とはまったく異なり、そこに属しているだけでは価値や意味を持てません。

例えば、会社の部長が「俺は俺だから意味がある」と言って、その役割を果たさなければどうなるでしょう。会社は潰れてしまうかもしれません。そもそも、その人が集団の中で求められている役割を果たさなければ、必要とされないでしょう。人間の社会は共同体から機能集団になったわけですが、この流れ自体が、我々にとって不安な時代に入ったことを意味しています。

さらに、現代について考えてみると、消費社会、競争社会へ変化してきました。実はこのことが、我々の不安をより強いものにしていくのです。

競争社会とそうではない社会とでは、我々が感じる不安はまったく違います。

競争社会は、勝つか負けるかという社会です。勝つことでしか不安から逃れられない人は、早く結果を出そうとして焦る。いましていることの結果を気にして、いつまでも不安です。

また消費社会も同様に人を強い不安に陥れます。

消費社会は「これを買えば、こんないいことがありますよ」という商品をどんどん売る社会です。このクリームをついたら「十歳若返ります」「きれいなお肌になります」「このハンドバッグを持ったらすてきに見えませよ」といった具合に商品を売りつけます。

要するに、消費社会は「Xを可能にする商品を競って売る社会」なのです。

Xを求めるというのは、社会全体が神経症に陥っていることを意味しています。

人は生きている以上、さまざまな苦しいこと、大変なことに直面しますが、そうした苦しみに対して「こうすれば解決できる」と言う人がいると、安易な解決法を求めて、多くの人がその人のところに集まってしまう。

いわば消費社会とは、みんなが一生ケンメイ<sup>c</sup>、神経症に向かって走っているような社会。しかも、それを社会として推奨<sup>1</sup>しているのです。

人生を生きるのは本当に大変で、人間は誰もが幸せになるようにプログラムされているわけではありません。

そうであるにもかかわらず、「これを読めば幸せになります」という本がどんどん出版されます。どうすれば簡単に不安を消せるか、といった内容の二時間か三時間で読める本を出版社も求めるのです。

もちろん、それほど簡単に不安を消すことなどできませんが、だからといって本当に不安を消すことができず、方法を説いた、実践<sup>II</sup>することが難しい内容の本は、出版社からハッカン<sup>d</sup>を断られます。

「不安を消せる、こんな簡単な方法がありますよ」という本と、「人間の不安というのは Y<sup>□</sup>な問題であり、大変なことなのだ」と書いた本があるとします。

さらに、後者には「生きるということをやめてはいけないよ」というようなことが書いてあったとしましょう。そうした時に、読者がどちらを買うかといえば、多くの人が不安を消す簡単な方法を書いてあるほうを手に取りがちです。

消費社会はとにかく物を売ることがユウセン<sup>e</sup>するので、「これを買えば、こういうことが可能」ということを散々宣伝します。まるで当然のことのように、いかに容易にその不安が解決できるかを示し、これを買えば「こんなにいいことがあるよ」と売り込みます。

しかし、そんな魔法の杖<sup>えん</sup>のようなものではありません。よく考えれば分かることですが、もし「こうすれば幸せになりますよ」ということが本当なら、人類はとっくの昔から幸せになっているはずですが。

そのような、ないはずの魔法の杖を売っているのが消費社会なのです。こうすれば幸せになれる——そんなことをしたって、幸せにはなれるわけがないのに、いかにして安易に望むものが手に入るか、ということ競争って売っているのです。

(加藤 諦三「不安をしずめる心理学」より)

問1 傍線部 a～e と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答

番号は(1)～(5)。

- |   |        |     |   |              |   |                             |
|---|--------|-----|---|--------------|---|-----------------------------|
| a | ジヨウキョウ | (1) | ① | 試合のジツキョウ放送。  | ② | キョウブのレントゲン。                 |
|   |        |     | ③ | キョウシユウを誘う。   | ④ | キョウカイ線を決める。                 |
| b | ホウカイ   | (2) | ① | ホウジンを設立する。   | ② | ドウホウの絆 <sup>きずな</sup> を感じる。 |
|   |        |     | ③ | 橋がホウラクする。    | ④ | コウホウから支援する。                 |
| c | ケンメイ   | (3) | ① | 激しいケンマクで怒る。  | ② | 複数のクラブをケンブする。               |
|   |        |     | ③ | ケンテイ試験に合格する。 | ④ | 鉄棒でケンスイをする。                 |
| d | ハッカン   | (4) | ① | カントウの目次を見る。  | ② | 名著のフツカンが決まる。                |
|   |        |     | ③ | 注意をカンキする。    | ④ | 観客のカンセイが聞こえる。               |
| e | ユウセン   | (5) | ① | ユウソウな曲を奏でる。  | ② | ユウレツの差がない。                  |
|   |        |     | ③ | ユウダイな景色を眺める。 | ④ | 銀行にユウシを受ける。                 |

問2 傍線部1「共同体から機能集団の歴史になりました」とあるが、それによりどのような変化が起こったか。その変化の内容として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(6)。

① 周りの人と助け合うことで生きる意味や価値を見いだせなくなり、周りの人に勝つことが重視されるため、人類の幸せを求める人が減った。

② 個人が持つ価値や意味が失われ、機械的に働かされるようになり、アイデンティティを發揮する場面が減り、不安や寂しさを感じる人が増えた。

③ 集団に属するだけでは価値や意味を失くなり、集団で求められている役割を果たさなくてはならず、それによって不安になる人が増えた。

④ 個人の価値や意味を重視する人が減り、広い視野で自分の役割を考えられる人が増えたため、個人の不安が社会の不安に変化して落ち着いた。

問3 空欄A・Bにあてはまる語の組み合わせとして最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(7)。

① A 器官 B 運命                      ② A 会社 B 家庭

③ A 国家 B 職場                        ④ A 社会 B 商店

問4 空欄Xにあてはまる内容として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。本文中に二か所ある空欄Xには同じ言葉が入ります。解答番号は(8)。

① 人類全ての幸福                      ② 安易な解決                      ③ 不安の強要                      ④ 欲望の増幅

問5 二重傍線部I「推奨」・II「実践」の意味として最も適当なものを次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(9)・(10)。

I 推奨                      (9) ① よいこととして勧めること                      ② 他人事として無関心でいること

③ 課題として研究すること                      ④ 無関係なこととして放任すること

II 実践                      (10) ① 事実として確かめること                      ② 現実として認識すること

③ 実現に向け努力すること                      ④ 実際に自分で行うこと

問6 傍線部2『これを読めば幸せになれます』という本がどんどん出版されます」とあるが、その理由として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(11)。

① 消費社会に慣れきって、読者の側も考える力や読む力を失い、難しい内容の本を読みこなしたり理解したりすることができないから。

② 安易な解決法を読者が求めている以上、誰もが幸せになるようにプログラムされているわけではないという事実を伝えづらいから。

③ 人生を生きているのが大変であるとか、「生きることをなめてはいけない」とかいう主旨の本は後ろ向きな気持ちにさせる不安があるから。

④ 消費社会では物を売ることに重きを置いており、多くの読者は不安を消す簡単な方法を書いている本を買うことが予想されるから。

問7 空欄Yにあてはまる語として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(12)。

① 主観的      ② 客観的      ③ 根源的      ④ 表層的

問8 本文に書かれている内容として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(13)。

① 消費社会、競争社会へと変化した現代は、さまざまな不安を強いものにしたが、結果を出しさえすれば不安から逃れられる。

② 社会が機能的集団となったのは進歩と呼べるもので、人類の歴史から考えると今の諸問題を解決すれば明るい未来が開ける。

③ 人は安易な解決法を求めがちだが、簡単に幸せになったり不安がなくなったりするわけではないことを認識すべきだ。

④ ないはずの魔法の杖を売っているのが消費社会なので、役に立たないことをわかったうえで様々な商品を買った方がよい。

## 第2問 次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。

私たちの身のまわりには、<sup>ア</sup>いろいろなモノがあります。高価なモノもあれば、安価なモノもある。役に立つモノもあれば、不必要としか思えないモノもあります。

モノが身のまわりにどんどん増えていって始末に負えないというのは、私たち現代人が抱えている共通の悩みだと思います。

ここ十年ほどで、「終活」ということがよく言われるようになりました。「生前整理」という言葉もイッパんに使われています。人生の後半期を生きる人たちは、そういったことに自然にビシカンになっていくのでしょうか。

**A** 最近では、若い人たちもまた一種のプレッシャーを強く感じているようです。身のまわりをスッキリさせなければいけない、という圧迫感。生活情報を扱う雑誌やテレビ番組が、シンプルライフの話題を盛んに特集するのはそのためでしょう。

以前、近藤麻理恵さんという方の「こんまりメソッド」という片づけ術が大きな話題となりましたが、その後、日本ばかりでなくアメリカに進出して、海外で一大ブームになっているという。ぼくも彼女の番組をみたことがあります。アメリカの家庭をホウモンして片づけ術をデンジュしていくという興味ぶかいリアリティ番組でした。

それほど長い歴史をもっているわけではない、合理性第一のように見えるアメリカという国の人たちが、家の中ではモノが山のように溜まっていき、そのことについてものすごいプレッシャーを感じています。ヒジョウに日本的な「感謝しながら捨てよう」というシンプルなメッセージに共感が集まり、大きな話題になったりする時代を象徴するようなブームでした。

じつはこんなところに、<sup>1</sup>現在の、世界的な文化的な生活というもののひずみ<sup>1</sup>があらわれていると言えるかもしれません。

現代社会は、<sup>オ</sup>いわゆる富裕層<sup>f</sup>とヒンコン層<sup>f</sup>に人々が分かれ、大きな格差が生じているとよく言われます。モノが余ってシヨリできない人たちもいるし、モノが足りなくて困っている人たちも大勢います。

世界規模から言えば、すべての人たちが身のまわりにモノがあふれ、モノにカジョウに取り囲まれてアップアップしているわけではありません。

**B** 世界のなかで文化や経済などが豊かな国や場所で、とくにそういう現象、身のまわりをスッキリさせなければいけない、という圧迫感が生じているような気がするので。

ワンルームという言葉に象徴されるように、<sup>2</sup>都会で暮らしている若い人たちは、とても狭い空間のなかで生きています。部屋にはできるだけ何も置かず、服をしまうクローゼットも必要とせず、壁際にズボン一本とシャツを二枚だけ吊るしておけばそれでいい、という人もけっこういるようです。

ぼくは、それはそれで潔い生きかただと思います。シンプルな生活をヒテイすることはしません。ですが、やはりそういう暮らしぶりというのは、ときにとても空虚な感じがするのではないか。

身体を横たえる場所もないくらいにモノがあふれている部屋、それもまた味わい深いものではないでしょうか。

世代によって違いますけれども、昔のヒーローもののグッズだったりほかのものだったり、いろんなモノに囲まれている。ゴミ屋敷という言い過ぎになりますが、そういうなかで、日々万年床で寝るような暮らしも、それはそれでひとつの豊かな精神世界ではないかという感じがするのです。

地方の、カ<sup>j</sup>ソ化<sup>j</sup>したと言われるような村へ行くと、土壁の蔵のある家をよく見かけます。そういう土蔵には、明治時代よりもっと古い、江戸時代やその前の時代からの骨董品<sup>こっとうひん</sup>が仕舞い込まれています。

福岡のぼくの親戚の家にも土蔵があります。昭和二十二年に朝鮮半島から引き揚げてきて親戚の住む村で暮らしたときには、よくその土蔵のなかに勝手に潜り込んだものでした。

古い雑誌をはじめ読むものもたくさん仕舞い込まれていたので、こっそり潜り込んで探索しました。アドベ<sup>II</sup>ンチャーに挑んでいるようで、うれしく、胸の躍る思いをしたことを覚えています。

都会のワンルームにしても地方の村の土蔵にしても、そういうところに山ほど詰まっているのは、確かに X かもしれません。

そして、そういうものを全部捨て、合理的に暮らすことが、Y と呼ばれ、Z と呼ばれてきたように思います。

しかし、コロナ禍によって私たちは新たな経験をしました。

まだ終わったわけではありませんし、歴史的な事実になったわけでもないのですが、ひよっとしたらこれが新しい時代、〈捨てない生きかた〉のはじまりのような気がしてならないのです。

(五木 寛之「捨てない生きかた」より)

問1 波線部ア「いろんな」と言葉の働きが同じものを本文中の波線部イ〜オから一つ選び、番号で答えなさい。

い。解答番号は(14)。また、その品詞名を一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(15)。

- (14) ① イ 高価<sup>たかひな</sup>な ② ウ 盛<sup>も</sup>んに ③ エ ものすこ<sup>すこ</sup>い ④ オ いわゆる
- (15) ① 副詞 ② 連体詞 ③ 形容詞 ④ 形容動詞

問2 傍線部 a〜j と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(16)〜(25)。

- a イッ<sup>い</sup>パン (16) ① セン<sup>せん</sup>パンの会議の報告。 ② 荷物をウン<sup>うん</sup>パンする。
- b ビン<sup>びん</sup>カン (17) ③ ザン<sup>ざん</sup>パンの量を減らす。 ④ ゼツ<sup>ぜつ</sup>パンとなった書籍。
- ① 人の意見にビン<sup>びん</sup>ジョウ<sup>じょう</sup>する。 ② チャ<sup>ちゃ</sup>ビン<sup>びん</sup>を買い換える。
- ③ カ<sup>か</sup>ビン<sup>びん</sup>に反応する。 ④ ビン<sup>びん</sup>ラン<sup>らん</sup>で調べる。

c ホウモン (18) ① サホウにのっとって行う。 ② ホウキヤクをもてなす。

③ 敵にホウイされる。 ④ ホウシ活動に勤しむ。

d デンジュ (19) ① 金銭のジュジュを禁じる。 ② ジュリヨウ証をもらう。

③ ジュヨウと供給のバランス。 ④ ジュガクの教えに従う。

e ヒジョウ (20) ① カンジョウをあらわにする。 ② ジョウケンをいくつか出す。

③ ジョウギで測る。 ④ ジョウビ灯を設置する。

f ヒンコン (21) ① 入試ヒンシュツの問題。 ② ジョウヒンな振る舞い。

③ セキヒン洗うがごとし。 ④ カイヒン公園へ遊びに行く。

g シヨリ (22) ① 中東シヨコクを旅する。 ② 素早くタイシヨする。

③ ナイシヨにしておいてほしい。 ④ 多くのシヨメイが集まる。

h カジョウ (23) ① 学業ジョウジュを願う。 ② ジョウキ機関の発明。

③ あまりにフジョウリだ。 ④ 資源のヨジョウを残す。

i ヒテイ (24) ① ヒルイなき美しさだ。 ② ヒフクを専門にする。

③ ヒマンを解消する。 ④ 問題のカヒを問う。

j カソ (25) ① つき合いがソエンになる。 ② ソフボの家に帰省する。

③ ソマツな食事をとる。 ④ シツソな生活を続ける。

問3 空欄A・Bにあてはまる語として最も適当なものを次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(26)・(27)。

A (26) ① だから ② つまり ③ しかし ④ たとえば

B (27) ① とりわけ ② おおむね ③ もちろん ④ はるかに

問4 二重傍線部I「リアリテイ」・II「アドベンチャー」の意味として最も適当なものを次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(28)・(29)。

I リアリテイ (28) ① 現実的 ② 報道的

③ 宣伝的 ④ 創作的

II アドベンチャー (29) ① 危険 ② 快楽

③ 冒険 ④ 課題

問5 傍線部1「現在の、世界の文化的な生活というもののひずみ」とあるが、それはどのようなことか。それを説明しているものとして最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(30)。

① 合理主義を重んじているアメリカ人でさえ、家の中にモノが山のように溜まっていき、そのことにプレッシャーを感じていること。

② 「感謝しながら捨てよう」というメッセージに共感が集まっているが、実際には感謝するなら捨てるべきではないということ。

③ モノが余って始末に負えない人がいる反面、モノが足りなくて困っている人がいるというように、大きな格差が生じていること。

④ 世界の中でも豊かな国や場所で、身のまわりをスッキリさせなければいけない、という圧迫感が生じていること。

問6 傍線部2「都会で暮らしている若い人たち」とあるが、そのような人たちの事例に筆者はどのような思いを持っているか。それを説明しているものとして最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は(31)。

① 必要なモノだけで生活するという暮らしは無味乾燥といえるものであり、できるだけ広い場所に暮らした方が精神的にも豊かになるだろう。

② シンプルな生活は潔い生きかたで悪くはないが、様々なモノに囲まれて暮らすということも豊かな精神世界と言えるのではないか。

③ 「こんまりメソッド」と同様に合理性を第一にした生活で理にかなっているが、思い出の品を大事にする姿勢も忘れてはいけない。

④ 都会での住宅事情という問題があるので、狭い空間に必要な最低限のものをつめて満足する生活ができることは有利に働くとはいえる。

問7 空欄Xにあてはまる内容として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(32)。

① 不要不急のモノたち                      ② 先祖からのプレゼント

③ その人の人生の伴侶                      ④ 苦勞して集めた品物

問8 空欄Y・Zにあてはまる語の組み合わせとして最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(33)。

① Y 機械化    Z 商業化                      ② Y 文明化    Z 近代化

③ Y 効率化    Z 多様化                      ④ Y 経済化    Z 高級化

問9 この文章の展開の仕方について述べたものとして最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。  
解答番号は(34)。

① 冒頭で私たちが現代人が抱える悩みについて取り上げ、具体的な事例や筆者の体験を交えながら、意見をまとめている。

② 冒頭で私たちの身のまわりの問題を提起して、二つの考え方を対比させながら論を進め、理由とともに結論を述べている。

③ 冒頭で筆者の考えを理由とともに示し、筆者の体験を紹介して読み手の興味をひき、最後に今後の課題を提起している。

④ 冒頭に筆者の体験を詳しく説明し、続けて対照的な考え方を取り上げた上で、様々な考え方ができることを提唱している。